●ケーススタディのクリティーク・チェックシート（2015.7.15改訂）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | チェック項目 | チェック（◯△×） | チェックの根拠 |
| タイトル | 論文の内容を示したタイトルとなっているか |  |  |
| 抄録 | 全文の内容を要約できているか |  |  |
| 事例において、先行研究で取り上げられていなかった臨床的な問題や、エビデンスが確立されていないケアで新たなケアの試みと評価などを示せているか |  |  |
| 序論 | 背景の知識として、事例に則した文献検討ができているか（先行研究がない場合もあるので注意が必要） |  |  |
| なぜこの事例研究が重要か示せているか |  |  |
| リサーチクエスチョン、もしくは目的を明確に示せているか |  |  |
| 投稿する雑誌の読者を想定して記述しているか |  |  |
| 方法 | 前向き、後ろ向きなどデータ収集方法を記述しているか |  |  |
| 看護ケアの評価の場合、今回新たに実施したケアの内容を時系列に具体的に示しているか |  |  |
| 研究目的に沿って、用いた診断基準や介入方法を具体的に記述できているか |  |  |
| 事例紹介 | 医学的・社会的背景や家族背景、年齢、性別、職業など必要に応じて詳細な記述があるか |  |  |
| 診断名、合併症、治療内容（薬剤）、検査データ記述されているか（治療内容や検査データは、時系列に変化を示せているか） |  |  |
| 研究目的に沿わない不必要な情報はないか |  |  |
| 倫理的配慮 | 研究についての倫理委員会の承認を得ているか |  |  |
| （大きな研究の一部である場合）事例発表に関しての患者または意思決定代理人の同意を得ているか |  |  |
| 結果（経過） | 経過を介入前から時系列に示せているか |  |  |
| 看護ケアの評価 の場合、患者の経過とアセスメントを具体的に示しているか |  |  |
| 評価手法は明確に示せているか |  |  |
| 図表や写真を用いて視覚的にアピールし、効果的に使用できているか |  |  |
| 図表と文章との重複や相違がないか |  |  |
| 考察 | 事例のユニークさや独自性は示せているか |  |  |
| 事例の状況を多様な側面から解釈し、説明できているか |  |  |
| 他の同様のケーススタディ（先行研究）との比較はあるか |  |  |
| 研究結果の一般化はできないが、結果を無理に一般化する考察となっていないか |  |  |
| 研究の限界について記述できているか |  |  |
| 臨床への示唆 | 臨床で活用できる示唆が述べられているか |  |  |
| 引用文献 | 関連のある先行研究が使用されているか |  |  |
| 資金提供者 | 研究助成などの資金源を記述しているか |  |  |

Green,B.N.,Johnson,C.D.How to write a case report for publication.Journal of Chiropractic Medicine 5(2),72-82,2006.をもとに作成。

★チェックシートについてわかりにくいところがある場合は、本書に例を挙げて詳しく説明していますのでぜひ参考にして下さい。

『研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク』（<http://jnapcdc.com/cq>）